

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量の補足資料

関東農政局統計部

【長野県の作柄概況】

(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

- 1 長野県における令和7年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は、3万1,000ha（前年産に比べ100ha増加）と見込まれる。

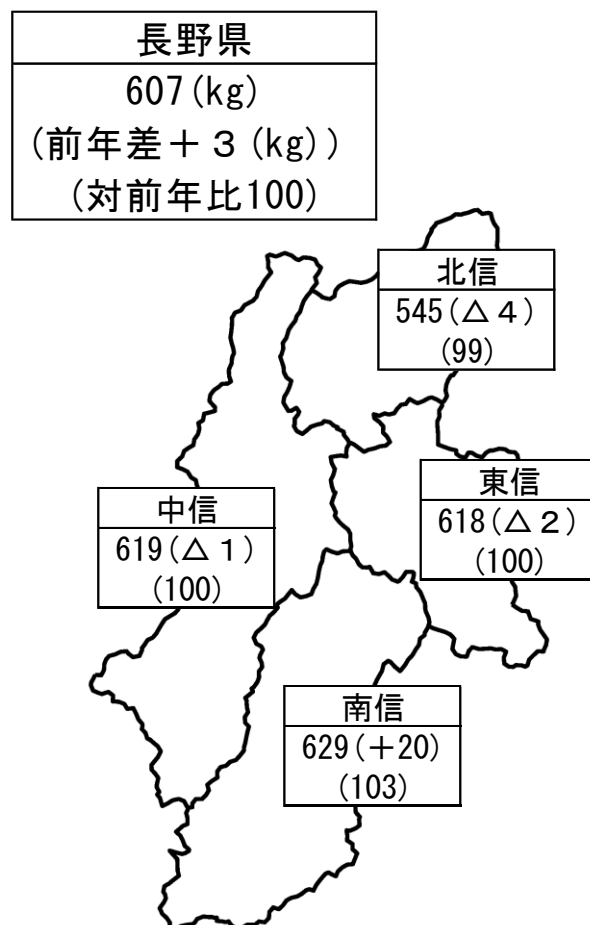
うち、主食用作付面積は3万ha（前年産に比べ1,000ha増加）と見込まれる。

- 2 9月25日現在における長野県の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅（1.85mm）ベース）は、607kg（前年に比べ+3kg、対前年比100）と見込まれる。これは、分けつ期に当たる6月中旬から7月中旬にかけて気温が前年を上回って推移したことから、穂数がやや多くなり、幼穂形成期に当たる7月中旬以降、おおむね天候に恵まれたことにより1穂当たりもみ数が前年並みとなったことから、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「やや多い」となり、また、千もみ当たり収量は、出穂期以降、おおむね天候に恵まれたことから、「前年並み」と見込まれるためである。

なお、作柄表示地帯別では、東信で618kg（同△2kg、100）、南信で629kg（同+20kg、103）、中信で619kg（同△1kg、100）、北信で545kg（同△4kg、99）と見込まれる。

- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、18万2,100t（前年産に比べ6,900t増加）と見込まれる。

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量（9月25日現在）



○ この資料は、「令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」10月10日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

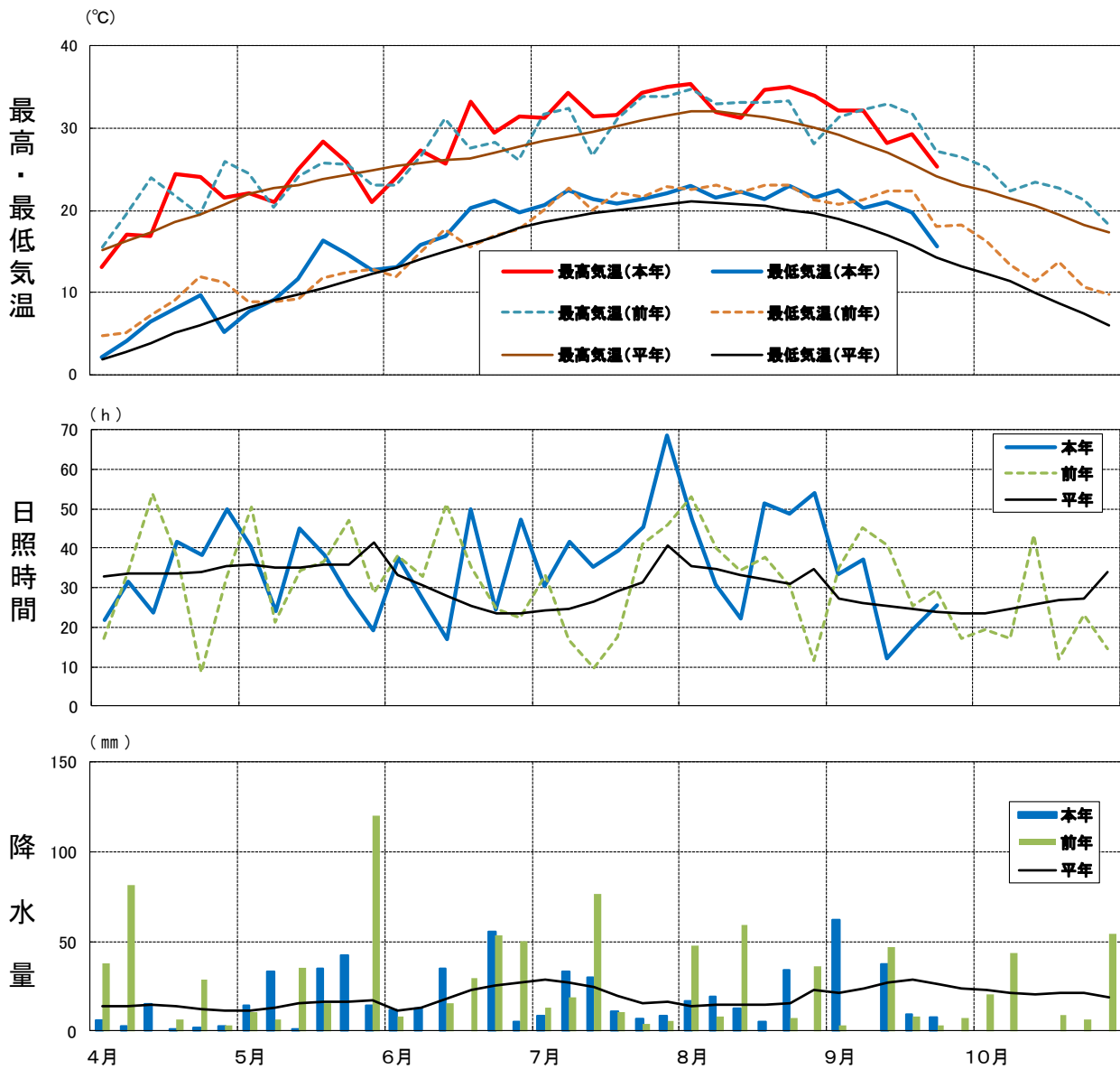
本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR01_20】

二次元コードはこちら →



令和7年 半旬別気象（松本）



資料：気象庁

お問合せ先

◎本統計調査結果について

関東農政局 長野県拠点 統計担当

電話：026-234-5577